

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 年 月 日

事業所名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	1		・活動に応じて対応できる部屋数、設備が整っている	
	2	職員の配置数は適切である	4	2			・昨年より職員が少ないので改善していきたい
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	2	1		・車いす利用の児童が利用しづらい状況なので改善していきたい
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6			・毎週、毎日その時々目標設定や振り返りを大事にしている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			・お便り帳や帰りの送迎で連絡、情報の共有を行い、対応を行っている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			・前回集計した評価表をホームページに掲載されている	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	4			上手く活用できていないので、今後対応していく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			本社から送られてきた情報や、関係者からの連絡を元に対応している	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6			保護者や関係者からの情報を参考に作成している	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6			定期的に職員会議を行い立案している	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	1		定期的に職員会議を行い立案している	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6			定期的に職員会議を行い立案している	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6			保護者からの情報や職員会議を通して作成している	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1		朝礼や終礼を通して役割確認を行っている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1		朝礼や終礼を通して役割確認を行っている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			朝礼や終礼を通して役割確認を行っている	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6			保護者からの情報や職員会議を通して作成している	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5	1		ガイドラインを参考にいろいろ組み合わせ合わせて支援を行っている	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			児童の担当者及び管理者が話し合いの下参画している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6			送迎時や電話連絡を通して連携を取りながら対応を行っている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	2	1		連絡体制が十分でないので今後改善を行っていく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	1		定期的に職員会議を行い相互理解に努めている	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	2			・事業所を卒業し、直接障害福祉サービスに移行する児童が現在までいない
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2		関係者や社協などからのメールやファックスを通して研修を受けている	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	3			以前に比べ少し交流は増えているが、まだまだ少ないので今後改善していく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		3	3		あまり参加できていないので今後改善していく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			送迎時だけでなく、ラインや電話を通して状況や課題について共通理解に努めている	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	1		以前に参加したペアレントトレーニングの資料を参考に支援の方法や例を伝えている	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			・利用開始前の面談で書面を通じて細かく説明している。また質疑応答も適宜行っている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			面談を多く行い、直接的な支援を行っている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3	2		ほとんど出来ていないので今後改善していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	1		すぐに職員会議を行い、状況の把握や適切な対応に取り組んでいる	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	3		利用カレンダーや活動表、お便りを配布し情報の発信を行っている	
	35	個人情報に十分注意している	6			・写真や名前の私用の際には必ず保護者の確認をとって対応を行っている	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			ラインや電話で細かい対応を行っている	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	1	4		現在出来ていないので今後改善を行っていく

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	1	作成したマニュアルを参考に行っている	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	1	年に2回ほど行っている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		資料を準備し、定期的に虐待研修を行っている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	1	契約時の説明の際に確認し、対応について詳しく伝えている	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		契約時に保護者と確認し対応を行っている	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		朝礼や終礼を通して振り返りを行い事実確認を行い、今後に生かせるようにしている	